

第5部

教育・子育て・女性活躍

第1章 教育

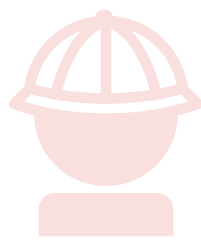
- 66 学校数
- 67 児童・生徒数
- 68 1教員あたりの児童・生徒数
- 69 子どもの学力
- 70 子どもの体力
- 71 子どもの学習意欲
- 72 不登校児童生徒数
- 73 いじめの認知件数
- 74 高等学校卒業者の進路
- 75 大学等進学率

第2章 子ども・子育て

- 76 保育所等定員数・利用児童数及び待機児童数

第3章 女性活躍

- 77 男女の家事関連従事時間の推移
- 78 男女の仕事時間の推移
- 79 女性の管理的職業従事者の割合





学校数

前年度に比べ、幼保連携型認定こども園は増加、幼稚園は減少。

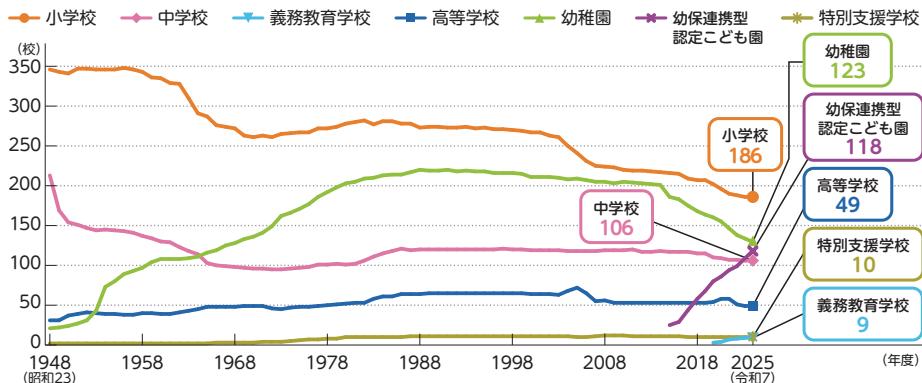


2025 (R7) 年5月1日現在の奈良県の学校数は、小学校は186校、中学校は106校、義務教育学校は9校、高等学校(全日制・定時制)は49校、幼稚園は123校、幼保連携型認定こども園は118校、特別支援学校は10校です。

●義務教育学校…学校基本法の改正(2016(H28)年4月1日施行)により創設された、小学校から中学校までの9年間の義務教育を一貫して行う学校。

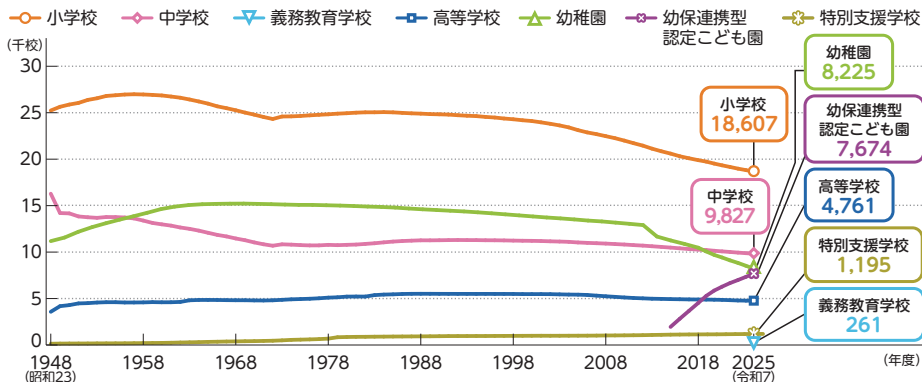
奈良県の学校数の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」



全国の学校数の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」





児童・生徒数

小学校・中学校の児童・生徒数は過去最少



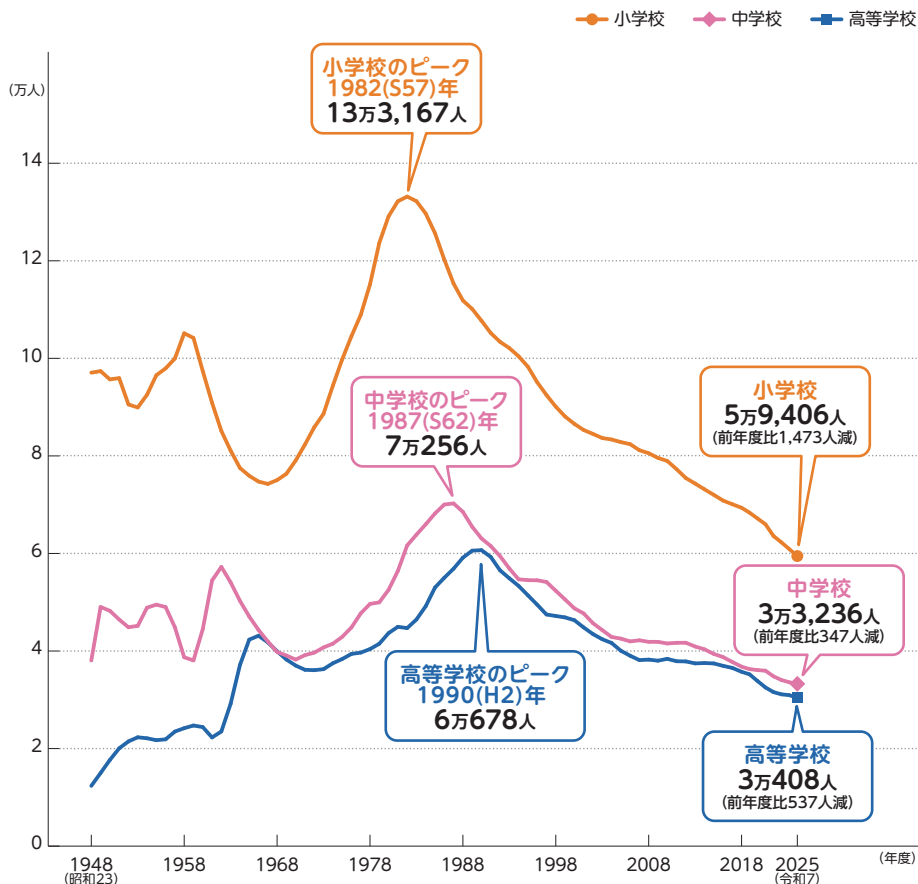
2025(R7)年5月1日現在の小学校の児童数は5万9,406人、中学校の生徒数は3万3,236人、高等学校の生徒数は3万408人です。

2025(R7)年5月1日現在の小学校の児童数は前年度より1,473人減少、中学校の生徒数は前年度より347人減少、高等学校の生徒数は前年度より537人減少しました。

小学校の児童数のピークは、1982(S57)年度の13万3,167人。中学校生徒数のピークは、1987(S62)年度の7万256人、高等学校生徒数のピークは1990(H2)年度の6万678人となっています。

生徒数の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」





1教員あたりの児童・生徒数

1教員当たりの児童・生徒数は、小学校12.6人、中学校12.0人



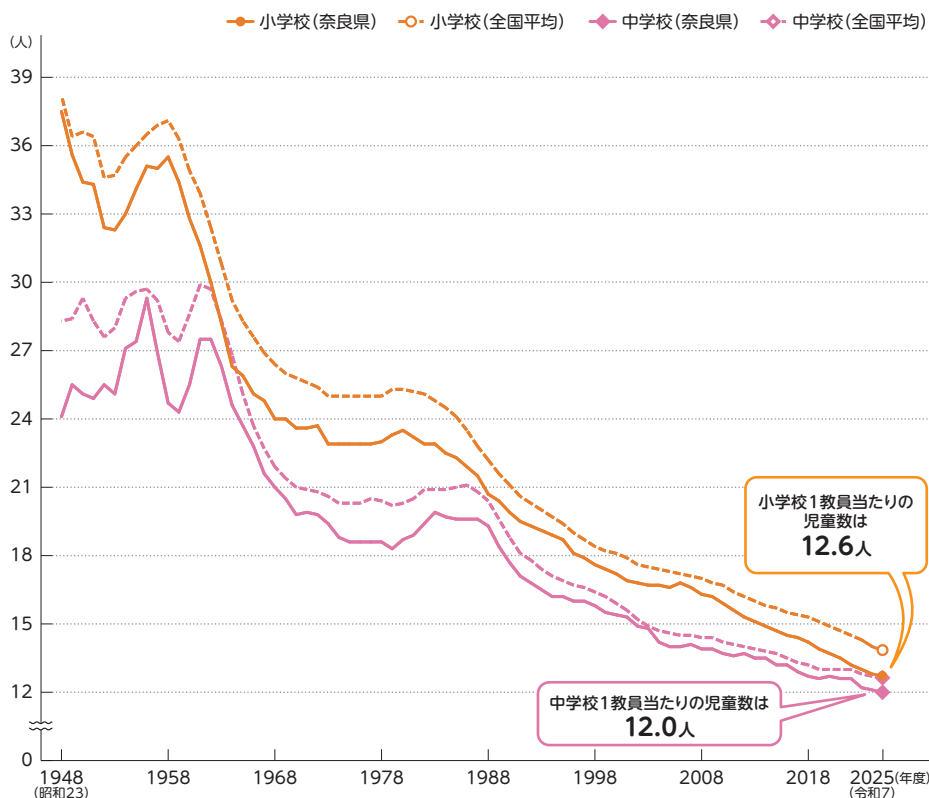
2025(R7)年5月1日現在の奈良県の小学校教員数は4,729人で、1教員当たりの児童数は12.6人となり、中学校教員数は2,775人で、1教員当たりの生徒数は12.0人となりました。

小学校は前年度と比べて教員数が44人減少し、1教員当たりの児童数は0.2人減少して12.6人となりました。なお、全国平均は、13.7人となっています。

また、中学校は前年度と比べて教員数が8人減少し、1教員当たりの生徒数は0.1人減少して12.0人となりました。なお、全国平均は、12.6人となっています。

1教員当たりの児童・生徒数の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」





子どもの学力

子どもの学力は、ほぼ全国平均並み



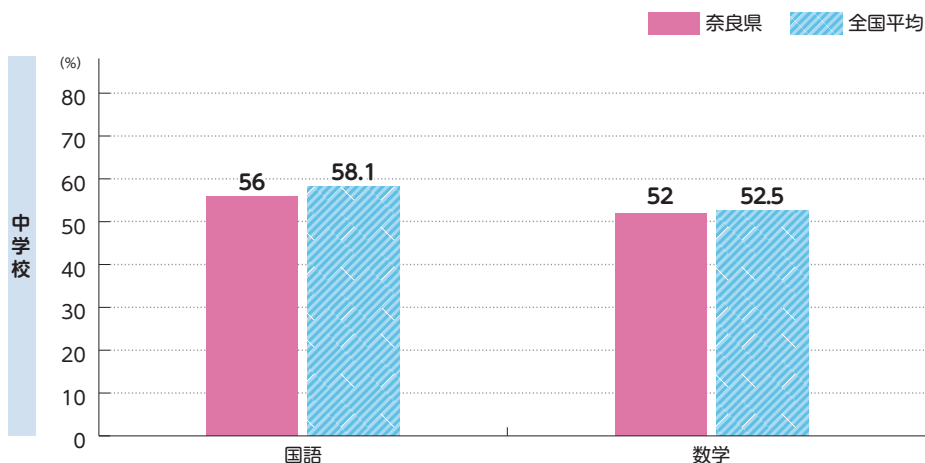
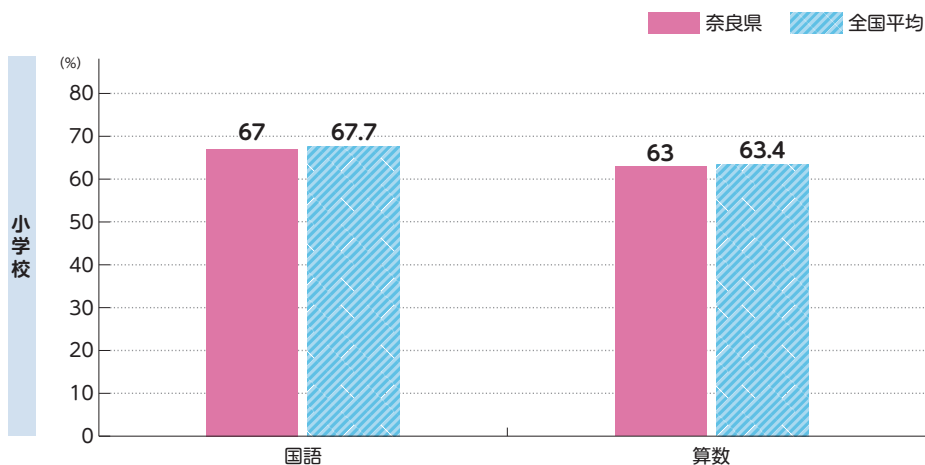
令和6年度全国学力・学習状況調査では、小学校国語・算数及び中学校国語・数学は、ほぼ全国平均並みです。

※1 平成31(令和元)年度から、「知識」、「活用」に関する問題を一体的に出題。

※2 各都道府県の正答率は整数値で公表されているため、グラフにある奈良県の数値は整数値となっている。

平均正答率(2024(R6)年度)

資料：文部科学省「令和6年度全国学力・学習状況調査」





子どもの体力

子どもの体力は、ほぼ全国平均並み



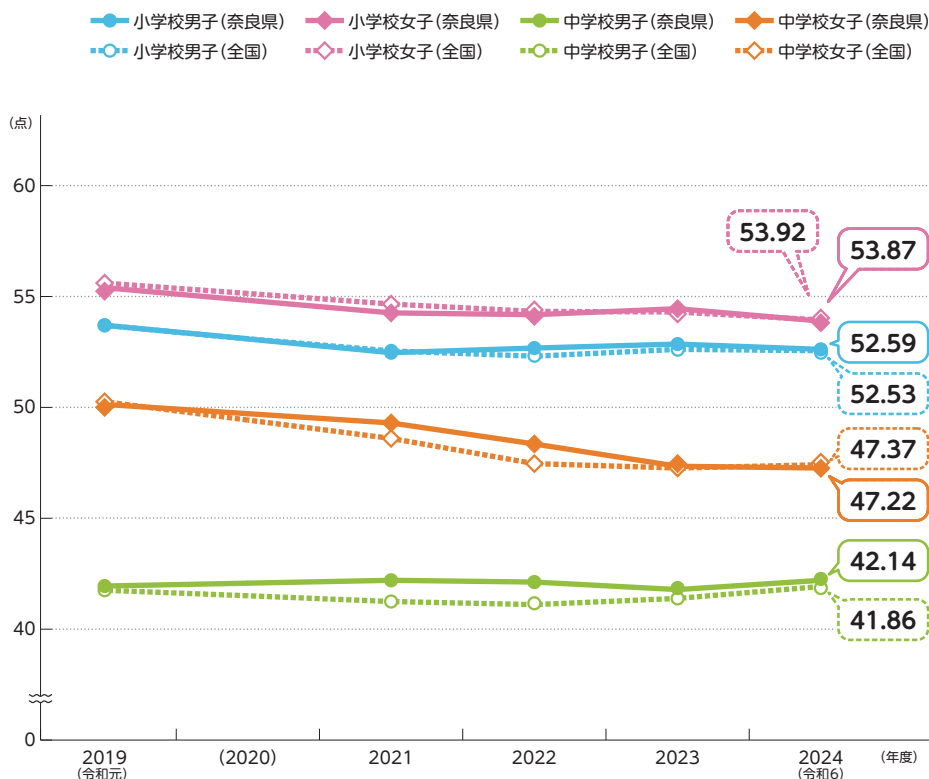
体力合計点は、小学校、中学校の男女ともに2018(H30)年からほぼ全国平均並みです。

2024(R6)年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、奈良県の小学生、中学生の男子で体力合計点の平均が全国のを上回りました。また、奈良県の中学生男子は、昨年までの低下傾向から向上に転じました。

- 体力合計点…握力、50m走等の種目別得点表に基づき、各種目の得点を合計したものである。
- 2020(R2)年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、調査中止。

子どもの体力

資料：スポーツ庁「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」



※調査の対象とする児童生徒 小学校調査:小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生。
中学校調査:中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の2年生。



子どもの学習意欲

子どもの学習意欲は、ほぼ全国平均並み

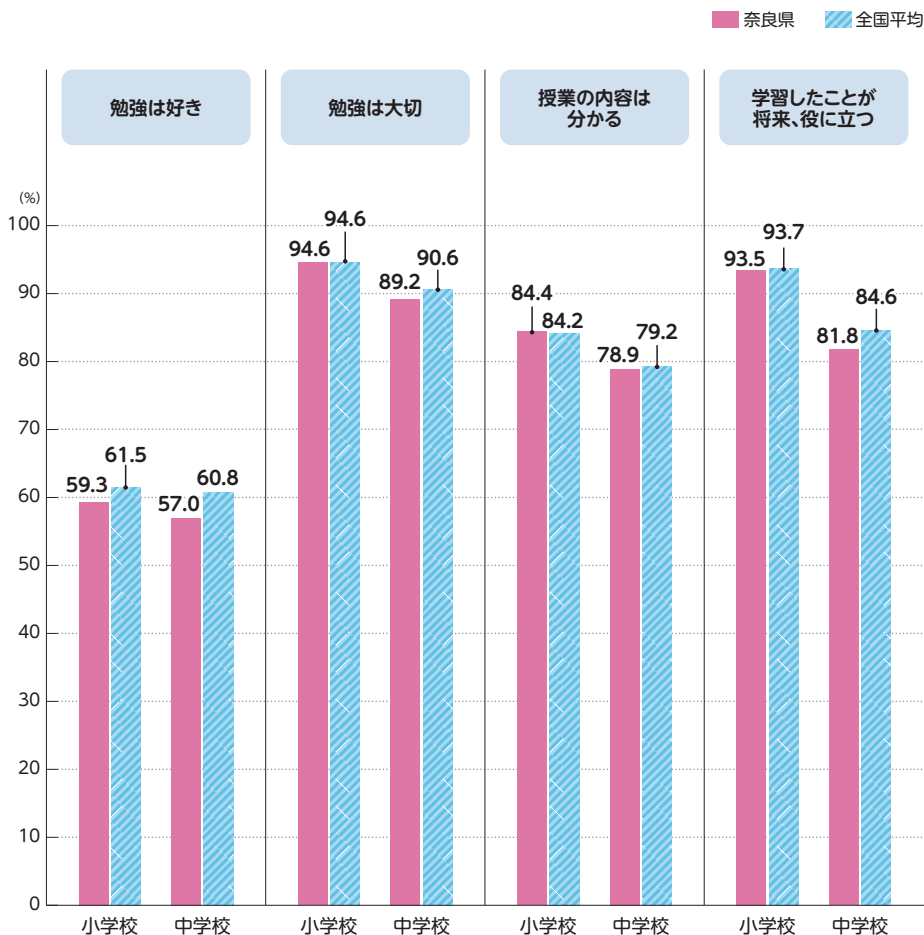


令和6年度調査時の子どもの学習意欲(好き、大切、分かる、役に立つ)は、小学校、中学校ともに、すべての項目でほぼ全国平均並みです。

学習意欲に関する4項目に、肯定的に回答する児童生徒の割合の全国平均との差は、小学校は-2.2～0.2ポイント、中学校は-3.8～-0.3ポイントでした。

子どもの学習意欲(2024(R6)年度)

資料：文部科学省「令和6年度全国学力・学習状況調査」





不登校児童生徒数

不登校は小学校・中学校ともに7年連続の増加



2023(R5)年度の国公立小・中学校における不登校児童生徒数は、小学校が1,337人(前年比192人増)中学校が2,354人(前年比125人増)であり、小学校、中学校ともに7年連続の増加となりました。

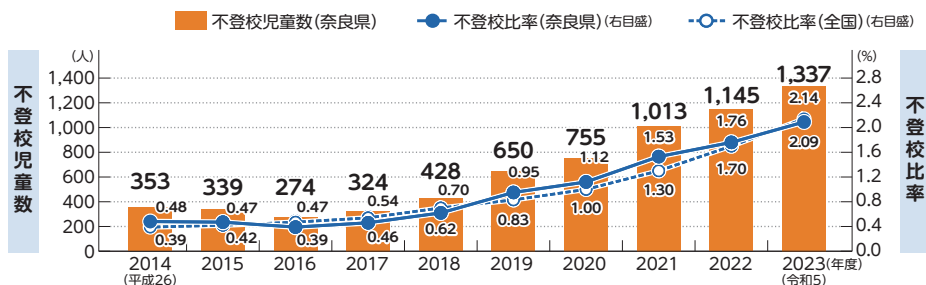
各学校では、不登校児童生徒の減少に向けて、校内研修などを積極的に実施しています。スクールカウンセラーを県内公立小・中・義務教育学校全校に配置しました。不登校やいじめ問題等で悩む児童生徒やその保護者に対する支援を行うだけでなく、教職員が教育相談についての理解を深めるなど、各学校の教育相談体制の充実に努めています。

また、電話教育相談、メール相談「悩みならメール」、SNS相談「なら Cocoro ライン」、ヤングケアラーメール相談窓口等、児童生徒・保護者が相談できる窓口を開設しています。

2025(R7)年からは、公設フリースクール「ならコネクト」を開校し、メタバース空間を活用したオンラインスクール「Cocoro キャンパス」で、学習支援や他者との交流機会を提供しています。不登校が長期化していながらもいずれの支援にもつながっていない、小学5年生から中学3年生までの児童生徒を対象に、社会的自立に向けた支援を行っています。

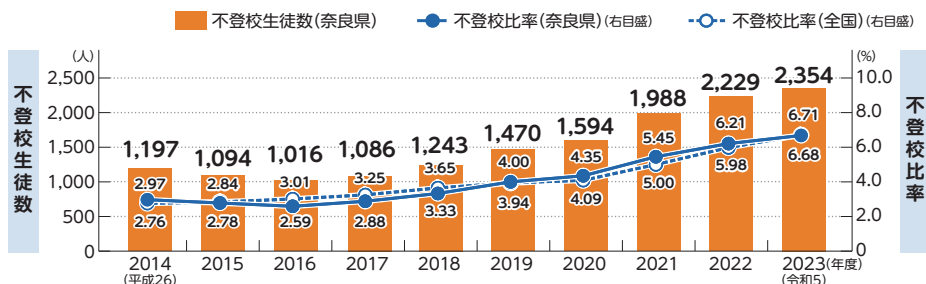
小学校の不登校児童数の推移

資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」



中学校の不登校生徒数の推移

資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」





いじめの認知件数

個々の事象をより丁寧に把握し、
いじめ見逃しゼロの学校を目指す



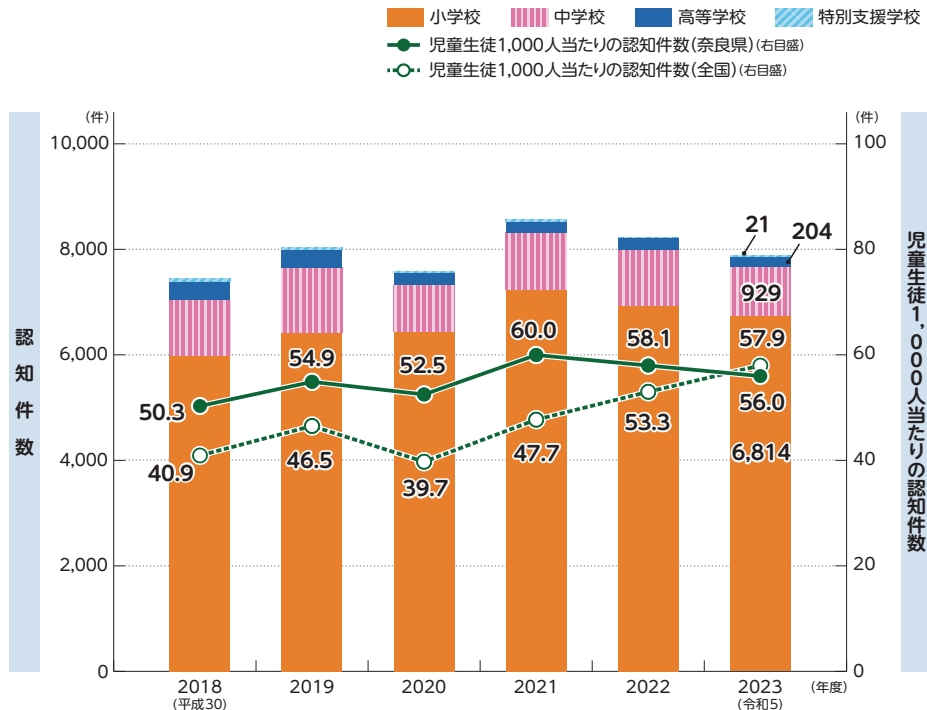
軽微で些細ないじめの状況も積極的に認知し、組織的な早期対応と継続的
できめ細かな見守りに努めます。

2013(H25)年に「いじめ防止対策推進法」が施行され、法に定められた「いじめの定義」に基づき、各学校が軽微ないじめも積極的に認知しているため、全国のいじめの認知件数が増加傾向となっています。

本県では、文部科学省が2022(R4)年12月に「生徒指導提要」を改訂したことや2024(R6)年8月の「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」改訂等を踏まえ、2025(R7)年3月に「奈良県いじめ防止基本方針」を改定しました。今後も、いじめの積極的認知に加え、いじめの未然防止のための子どもの自尊感情や規範意識を高める取組、家庭・学校・地域や関係機関が連携・協働した取組、そしていじめを生まない環境づくりの推進に努めていきます。

いじめの認知件数の推移

資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」





高等学校卒業者の進路

高等学校卒業者の進路について、進学率は81.9%で卒業者に占める就職者の割合は9.1%



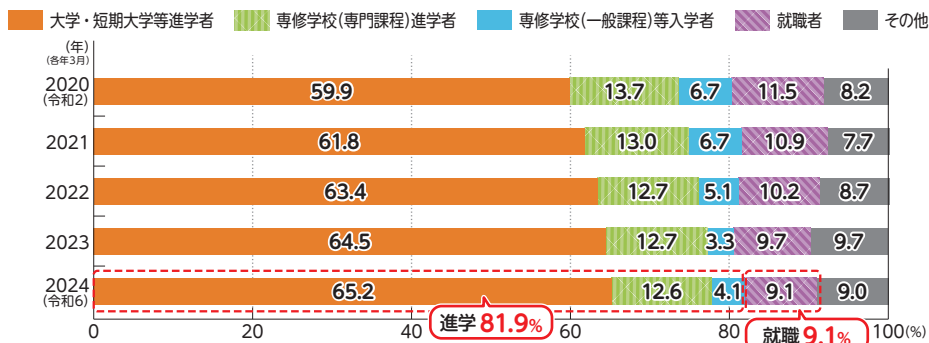
2024(R6)年3月の高等学校卒業者の進路別内訳をみると、大学・短期大学等への進学率は65.2%、専修学校(専門課程)進学率は12.6%、専修学校(一般課程)等入学率は4.1%、卒業者に占める就職者の割合は9.1%、その他は9.0%となっています。

2024(R6)年3月の高等学校卒業者総数は9,791人で前年と比べて550人減少しました。進路別男女内訳は、大学・短期大学等への進学率は男子64.7%・女子65.7%、専修学校(専門課程)進学率は男子8.8%・女子16.5%、専修学校(一般課程)等入学率は男子5.0%・女子3.2%、卒業者に占める就職者の割合は男子11.6%・女子6.5%となっています。全国平均と比べて大学・短期大学等への進学率が、男女ともに高くなっています。

※ 卒業者に占める就職者の割合には、進学しながら就職した者を含まない。

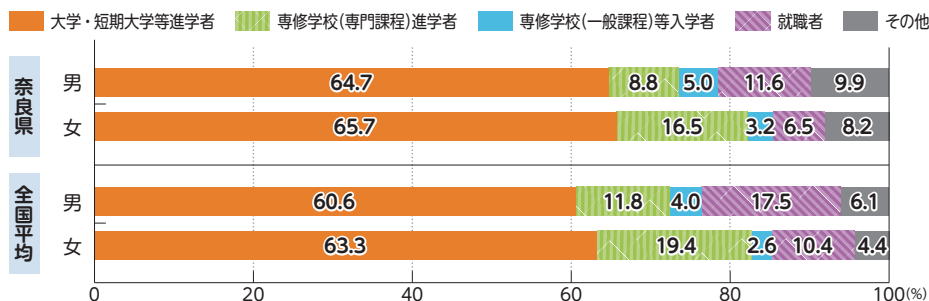
進路別割合の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」



男女別の進路別割合(2024(R6)年3月卒業生)

資料：文部科学省「学校基本調査」





大学等進学率

大学・短期大学等進学率は65.2%で、男女ともに全国平均を上回る



2024 (R6) 年3月の高等学校卒業者の大学・短期大学等への進学率は65.2%と前年と比べて0.7ポイント上昇し、全国順位は8位 (2023 (R5) 年8位) でした。

男女別にみると男子は前年より2.2ポイント上昇の64.7% (全国60.6%) で全国8位 (2023 (R5) 年9位)、女子は前年より0.9ポイント低下の65.7% (全国63.3%) で全国7位 (2023 (R5) 年6位) でした。

奈良県の進学率は、男女ともに全国平均より高い傾向にあり、また、奈良県、全国ともに女子の方が男子より高くなっています。

大学・短期大学等への進学率の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」

